

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	まごころ「とよふた」			
○保護者評価実施期間	2025年 10月 16日		～	2025年 11月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34名	(回答者数)	35名
○従業者評価実施期間	2025年 10月 16日		～	2025年 11月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 11月 26日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	将来の自立に向け、ひとつでも多くのことを自分でできるよう、生活スキルの向上を目指した取り組みをしています。	無理なく、自然とお子様に取り組める環境作りを心掛けています。	お子様たちが活動に取り組める環境設定が必要となるため、さらにわかりやすく意欲的に取り組めるよう構造化を行いながら環境を整えてまいります。
2	第二の家のようなお子様たちにとって安心して意心地の良い場所であること。	学校後の余暇時間を本人のペースでゆっくりのんびり過ごせるような雰囲気作りをしています。	個々が安心して居心地よく過ごせる場所をお子様主体で整えていくために安全確保しながら居場所を整えてまいります。
3	スタッフ間、コミュニケーションを取り、多くの情報を共有してお子様の個々の成長・発達を促しや見守りを行っています。	支援中や業務前後などスタッフ間のコミュニケーションを取り情報の共有、支援方法の確認を行っています。	より多くお子様たちの情報を共有できるようにスタッフ間、話しやすい環境作りを構築して丁寧に統一した支援ができるように努めてまいります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外遊びによる運動量の減少。	お庭がなく、外遊びをする機会がないため、体を思いっきり動かす機会が減ってしまいました。	事業所近隣で安全に行える散歩コースや公園等の調査や室内で行える粗大運動のプログラムの考案をしています。
2	送迎や時間指定の要望については保護者様のご協力をいただいていること。	送迎時の乗車時間、またスタッフの長時間の運転による安全面確保の観点から保護者様の協力をお願いしています。	保護者様と事業所間相互に協力し合いながら臨機応変に対応をして、いつでも相談できる関係性を作り上げていくことに努めてまいります。
3	インクルーシブなアプローチが不足しています。	安全安心できる場所の調査が不足しているのではないかと感じています。 「誰にとっても利用しやすい」配慮のある外出先の確認を積極的に行ってまいります。	コミュニケーション能力や社会性の能力を向上させる機会を増やしていく為に、色々な人々の触れ合いや多様な場所での経験やチャレンジをしていき、お子様の成功体験から成長発達の促す取り組みを増やしていけるように努めてまいります。